

<令和5年度将棋同好会活動報告第六報>

令和5年12月25日

(10月30日)

○小黒-橋本戦 橋本の○

先手橋本の合い掛かりに対する後手の小黒は3三金戦法を採用し歩損を拒否する作戦で臨んだが駒組みの欠点を解消できず、攻守共に悪形のままで良いところなく小黒の完敗。

○橋本-出井戦 橋本の○

先手の出井は角道を開けたまま四間飛車→向飛車と変化をみせながら工夫をこらしたが、橋本の的確な攻めを上回る反撃策が乏しく、久そ振りに出井の振り飛車を破った。

○次回11月27日は、橋本が仕事で参加できず、活動を休止することとした。事務局には連絡済み。

(12月6日)

○本社支部行事企画委員会に出席。令和5年度の将棋同好会活動概要を報告。囲碁と同様、同好会への新規参加者が増加せず、活動活発化への具体策が見つからないことが大きな課題。

(12月24日)

本日は小黒、出井、橋本の3名が活動に参加。

○小黒-橋本戦 橋本の○

相掛かり模様から後手小黒が飛車の活用を図り、7筋からの攻めを見せる中で、橋本は角の動きで牽制したがその角を桂馬で召し取られる展開となり角桂交換のまま小黒が有利に展開した。しかし、その有利を拡大出来ずギリギリの勝負となり、最後は小黒が橋本玉への詰みを見誤り即詰みを逃し、逆に自玉が簡単な詰みとなり小黒の逆転負け。

○橋本-出井戦 橋本の○

先手出井は角交換型四間飛車から、向飛車、中飛車と多彩な変化を見せた。その後、両者交換した角を手放し、出井は高美濃、橋本は玉側の金を攻めに上がる攻勢を見せるも玉の薄さが気になるころ。それに対し出井は橋本の角成りを見せた「ノゾキ」を放置、中央からの角損覚悟の攻めに転じた。さすがにこの作戦は無茶過ぎたようで、しかも中央からの攻めも橋本の頑強な受けでうまくいかず、橋本のゆっくりした攻めが十分に間に合い出井の駒損が拡大、出井は粘りをみせるもあえなく撃沈した。

<次回は来年1月29日(月)>

橋本は参加できないため、出井と小黒のサシの勝負。

○本日、活動後、軽い忘年会で懇親。

以上